

医療産業参入セミナー／ふくい医療産業創出研究会 開催報告

福井県では、今後成長が見込まれる医療産業への県内企業の参入を支援しております。支援事業の一環として、平成 27 年 12 月 10 日に医療産業参入セミナー／ふくい医療産業創出研究会を開催しました。

当セミナー／研究会では、これまで医療機器分野での産業創出に向けて取り組んできましたが、今年からは『介護』や『福祉』の領域も含めて取り組んでおり、今回は、福井工業大学の「福祉機器・介護ロボット研究開発プロジェクト」と、県工業技術センターの「金属ガラス」材料について研究内容と現在の状況などについて報告しました。あわせて、展示会への福井県ブース出展報告も行いました。

○医療産業参入セミナー／ふくい医療産業創出研究会

日時：平成 27 年 12 月 10 日（木）

会場：福井県工業技術センター B206

内容：・金属ガラスの製品化に向けて ～医療機器への可能性～

福井県工業技術センター 機械金属部 総括研究員 富田 孝一

・福祉機器・介護ロボットの研究開発について」

福井工業大学 工学部 機械工学科 講師 原口 真 氏

・HOSPEX Japan 2015 福井県ブース出展報告

福井県産業労働部 地域産業・技術振興課

主催：福 井 県、ふくい医療産業創出研究会、ふくいオープンイノベーション推進機構

1. 金属ガラスの製品化に向けて～医療機器への可能性～

県工業技術センター機械金属部金属加工グループの富田総括研究員氏より研究内容が紹介されました。新材料として期待される金属ガラスの定義、非結晶であり強く・しなやか・錆や磁化に対する耐性などの特徴があり、プラスチックのように加工でき、一部の MRI（磁気共鳴画像撮影）システム内においても使用が有望視される事が述べられました。また、県工技センターの保有技術を活用することにより、ダイキャスト成形品の品質の安定化が図れる事や、金属ガラスは手術器具の材料として最適であり、この材料での器具の試作が可能であることが述べられました。

県内企業からは特定材質と比較した際の特性などに関心を持たれ、製品化を見据えての期待を寄せられていました。



2. 福祉機器・介護ロボットの研究開発について

福井工業大学「福祉機器・介護ロボット研究開発プロジェクト」（移乗介助・移動支援装置等の研究開発）の研究代表者である工学部機械工学科の原口氏より、研究開発の内容と今後の実用化についてご講演いただきました。日本は世界の少子高齢化社会であり、この対策を開発しておく事で、2020年から2030年にかけて世界に対し先行技術を保有する事になります。

介護が必要になる主な原因の解析結果とその対策となる6種類の研究内容が述べられました。この内「ロボットを介在させた高齢者の運動促進プログラム」では、利用者のお年寄りに、幼児に向けたデモや、利用者間で競争することによるモチベーション向上や、認知症予防の効果への期待が述べられました。また、プロジェクトではニーズに基づく開発の指針方針が述べられていました。



3. 「HOSPEX Japan 2015」 福井県ブース出展報告

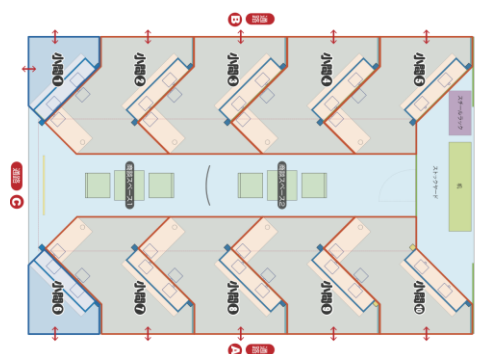
福井県産業労働部地域産業・技術振興課より、福井県ブース出展の報告が行われました。「HOSPEX Japan 2015」は来場者の約3割が病院、介護・福祉等の業務に携わる方です。この展示会に県内出展企業10社を集め、約9m×6mのスペースを一体的に運営しました。福井県ブースは、どこからでも入りやすく開放的な空間を演出し、エリア内の回遊と集客性を高め、商品を通路面に露出して市場へのアピールを狙った事が報告されました。



概観

また、平成27年度の出展スケジュールが示され、平成28年度も同様に展示会出展による県内企業支援を検討している事が報告されました。

このほか、医師向けの販路開拓事業（医療学会への出展）や、医療機器メーカー向けの販路開拓事業（国外の医療機器展示会への出展）に活用可能な『医療産業創出支援事業補助金』の概要が説明されました。



平面図（空間の開放性と商品の露出を狙う）

<平成27年出展スケジュール>

平成27年	6月17日	出展企業募集開始（～7/17）
平成27年	7月31日	ブース設計・施工業者公募開始
平成27年	9月10日	ブース設計・施工業者決定
平成27年	10月13日	出展者説明会
平成27年	11月24日	各出展企業によるブース設営
平成27年	11月25日	HOSPEX 開幕

お問い合わせ先：技術経営推進室 松井